



るうてるる

2012年
7月
No.775

●発行所
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区北谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

●振替口座 ■ 00190-7-71734
●ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>
●E-mail ■ jelc@jelc.or.jp
●発行人 ■ 徳野昌博 m-tokuno@jelc.or.jp
●印刷人 ■ 勤文堂印刷株式会社
●定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)



説教 「主を喜びとする日」

「安息日に律法で許されているのは、善を行うことか、悪を行うことか。命を救うことか、殺すことか。」マルコによる福音書3章1節〜12節



れ、命を回復するためです。主日礼拝が待ち遠しい。強制されるようなものではなく、恋人に会うような待ち遠しい気持ちです。仕事帰り、疲れているであろう夜の聖研に集う人の気持ち、今にして分かるようになりまし

この春から喜望の家の勤務が始まり、平日は朝の満員電車で揺られていて、メトロで地下道を通って乗り換えます。群れをなして突進するよう

に歩く人々の姿が、初めの頃は、サバンのパツファローのようで、異様な光景に思えました。三か月が過ぎ、自分もその流れの中に乗って一緒に突き進んでいます。帰宅の車中はぐったりという日も少なくありません。そのような毎日を通して、日曜日の安息が待ち遠しい、本当に待ち遠しく思えます。

イエスさまは、ここで、安息日の用い方について、フアリサイ派の人々と議論しています。現代の私たちからすれば、律法を固く守って、絶対に譲ろうとしないフアリサイ派の人々は、頑固で融通の利かない、変わり者のように思えます。イエスさまのおっしゃる言葉はもっともです。納得できると、当然のこと。日曜日であっても、病人がいれば病院へ連れて行くし、手当てをして傷ついた人を助けるといふのは、それこそ人の道で、道理にあって理解のできることです。

ラエルの民はエジプトで奴隷でした。モーセはフアラオに、主に礼拝をさせたいと願ひ出ます。フアラオはそれを許してくれませんでした。十戒を授かったのは、その後のことで、エジプトを脱出してからです。

また、バビロン捕囚の時代にも、エルサレムの神殿を失ったイスラエルの民は、主に礼拝をささげることができませんでした。ですから、聖書を作って、新しい礼拝の形を整えていったのです。そのような辛い体験と苦しい時代を経て、安息日は重んじられるようになり

ました。しかし、決まりごとというものは、いつしか形骸化してしまつて、人間を生かすのではなく、人間を縛るものになってしまつて、7日目に休まれたことに由来します。神さまは第7の日を祝福し、聖別されました。しかし、その安息の日を守ることでできない時代がありました。それはモーセの頃、イス

ラエルの民はエジプトで奴隷でした。モーセはフアラオに、主に礼拝をさせたいと願ひ出ます。フアラオはそれを許してくれませんでした。十戒を授かったのは、その後のことで、エジプトを脱出してからです。

また、バビロン捕囚の時代にも、エルサレムの神殿を失ったイスラエルの民は、主に礼拝をささげることができませんでした。ですから、聖書を作って、新しい礼拝の形を整えていったのです。そのような辛い体験と苦しい時代を経て、安息日は重んじられるようになり

ました。しかし、決まりごとというものは、いつしか形骸化してしまつて、人間を生かすのではなく、人間を縛るものになってしまつて、7日目に休まれたことに由来します。神さまは第7の日を祝福し、聖別されました。しかし、その安息の日を守ることでできない時代がありました。それはモーセの頃、イス

ラエルの民はエジプトで奴隷でした。モーセはフアラオに、主に礼拝をさせたいと願ひ出ます。フアラオはそれを許してくれませんでした。十戒を授かったのは、その後のことで、エジプトを脱出してからです。

また、バビロン捕囚の時代にも、エルサレムの神殿を失ったイスラエルの民は、主に礼拝をささげることができませんでした。ですから、聖書を作って、新しい礼拝の形を整えていったのです。そのような辛い体験と苦しい時代を経て、安息日は重んじられるようになり

ここで、イエスさまは、安息の意味を説いておられます。「安息日に律法で許されているのは、善を行うことか、悪を行うことか、命を救うことか、殺すことか。内容をみますと、これは日曜日だけに限つたことではなくて、他の6日間についても、私たちの生き方全体について、それを問うておられます。

神さまが祝福してくださつた安息日は、人のためにもあります。人が生きるための。神さまは一週間の労働を終えて、その成果をご覧になって、「見よ、それは極めて良かった、実に対して満足して休まれたのです。そして、その日を聖別し、恵みの日としてくださいました。それは、私たちがみ言葉と霊とに満たさ

れ、命を回復するためです。主日礼拝が待ち遠しい。強制されるようなものではなく、恋人に会うような待ち遠しい気持ちです。仕事帰り、疲れているであろう夜の聖研に集う人の気持ち、今にして分かるようになりまし

た。すでに集会は始まつていて、それでも遅れて来られます。「無理をしなくてもいいんですよ」「お体を大切にしてください」と言つても来られます。終わりにいつも讃美歌を歌つてお祈りをしていま

した。そのひと時こそが安息です。イエスさまに触れている時でした。聖徒の交わりの中で、一緒に歌いたいです。一緒に歌いたい、讃美歌を歌いたい、歌うことのできない平日の日、日中というものを過ごしていますから。

安息とは、このように、人がよみがえつて、生きがえつて、明日への希望や明日への新しい力を得る。豊かな祝福、天からの恵みです。神さまは、そのような恵みの日をお定めになりました。主を喜びとする日です。ディアコニア・センター

喜望の家 豊中教会
牧師 小勝泰保子

無敵 ルターはそのことをよく知っていた。それでも、彼は修道院に入つてしまつた。実際、父親との関係は決定的に悪くなる。修道院に入れば、友人たちとのつき合いもこれまでのよう

ではありえなくなる。ルター自身はそのことをあまり大きく考えなかった

「第一回詩編講義」である。ルター研究所 所長 鈴木 浩

第2回
**るうてる法人会連合
全体研修会**

2012年8月21日(火) 10:30~
22日(水) 12:00

ルーテル大阪教会
ホテル・ザ・ルーテル

講師：本多哲朗神父
(カトリック教会司祭)

**宗教合唱曲の
指導と実践**

8月17日(金)
午前10時~午後5時
日本福音ルーテル東京教会
講師：飯嶋子、佐々木正利、川上勝功、淡野弓子、山田実(日本声楽発声学会夏季研修会第2日)
参加費：¥2,000(含教材費) 教会賛美歌、賛美歌21なども使用します。

問い合わせ：
marikokudoh@aol.com
Tel&Fax 03-3727-5822

宗教改革五〇〇周年に向けて
ルターの意義を
改めて考える(3)

ルターはもともとと法律家になるべく大学で最後の学びをしてきた。成績も良かった。少なくとも外面的には、将来は明るかったのだ。事業で成功していた父親も、息子が法律家として成功することを強く期待していた。

無論、ルターはそのことをよく知っていた。それでも、彼は修道院に入ってしまった。実際、父親との関係は決定的に悪くなる。修道院に入れば、友人たちとのつき合いもこれまでのようではありえなくなる。ルター自身はそのことをあまり大きく考えなかった

よつたが、修道院に入るとは、一生涯、独身で暮らす、という意味も持っていた。そうした一切のことをルターは引き受けた。

彼は模範的な修道士になった。学歴もずばぬけていた。結局、修道会の指示で、ヴィッテンベルク大学の聖書学教授になった。ここからルターの聖書との本格的な取り組みが始まった。

修道院では詩編を毎日唱え、一週間その全体を唱え終わる習慣があった。ルターも詩編をほとんど諳んじるほどになっていた。大学でのルターの講義も、詩編から始まった。いわゆる「第一回詩編講義」である。ルター研究所 所長 鈴木 浩

信徒の声

「受けとめて」

小倉教会 池松綾子

一 池松綾子さん（小倉教会）は、現在、長野県上田市に拠点を置き、裂織を中心に制作活動を展開しています。今年の3月11日の礼拝の際、一つの作品を教会へ献品してくださいました。作品名は「受けとめて」。それは震災後、制作活動に向かうことができなかった池松さんが、ようやく手がけた作品でした。

昨年の3月11日の東日本大震災で津波など災害を受けられた方々は、もちろんたいへんだと思います。同時に原発事故が

起こったわけですが、これまで私は、反対はしてきただけ、皆が危ないと思うまで、きちんと伝えなかつたと思ひます。そういう意味で、反対して来た人にも責任があると思つたのです。生きていく間に、こんなことが本当に起こると考えてなかつたのではないかと、言葉だけで反対を唱えていたのではないかと。もちろん危ないと言ってきたけど、本当に

生きている間に起こるとは思つてもいなかつたのです。

年に2回展覧会に出展する機会があるので、それまでには作り上げたいと思つていました。そのうちに何か自分自身が事実を受けとめて、どういふふうに神さまは私に示しておられるのか、考えているうちにとにかく受けとめて、そして助けていただく、そういう気持ちで、そうしたいと思うに至つて、ようやく作り始めることができたのです。

この作品はなかなかできなかつたので、7月の展覧会には「不安の中か

ら」という作品を作つて出しました。8月に広島で展覧会があるので、それはまだ一月ありましたので、これを手がけたわけです。自分の思いを言葉にできないから、作品を作るのだと思ひます。

この作品はなかなかできなかつたので、7月の展覧会には「不安の中か



漠然とした思いを巻くことができるのです。タイトルは、「現実をお前はどうか受けとめるのか」と問われているように思ひ、付けました。

牧師の声

復活教会、文化財登録される

～夕刻に光り輝く、十字架のステンドグラス～

復活教会 花城裕一朗

今年の4月20日、私たちの教会は、国の登録有形文化財として登録されるようにと、文化審議会によつて答申されました。このような形で広く、世の中で認めて頂いたことを、神様からの祝福と受け止めて、教会員は大いに励まされています。

復活教会の歴史は、1928年「大曽根（おおぞね）講義所」として名古屋市の大曽根地区の伝道を開始したことに始まります。その後、現在の土地への移転と「大曽根教会」と名称の変更がありました。第二次大戦中に焼失

してしまいました。その悲しい現実を乗り越えて、1953年復活祭の時に、現在の礼拝堂が献堂されています。当時の教会員たちは、戦争の焦土の中からの礼拝堂の復活とキリストの復活を重ね合わせて見、希望を抱いたのでしょうか。この時、「復活教会」という現在の名前が付けられました。

今回の登録は、この礼拝堂が著名な建築家ヴォーリズの設計によることに基ついています。名古屋市内の建築家の間でも評判で、実際に訪ねて来られた方は、当時のその光景を通して、「世

この礼拝堂の一番の特徴は、聖壇が西側にあり、大きな十字架のステンドグラスが取り付けられていることです。会堂内から見るその十字架は、夕刻になると眩いほどに光り輝き、会堂内を黄金色に染め上げます。神が、その光景を通して、「世

の終わりの日には、このように、キリストの救いが光り輝く」と語りかけているように私は感じます。一日が終わる時に、世の終わりのことを想い起こすようにと、ヴォーリズは考えたのかも知れません。

復活教会がその名の通り、主の復活の栄光を証しする教会へと導かれていきますように、祈りつつ、宣教の務めに励んで参ります。

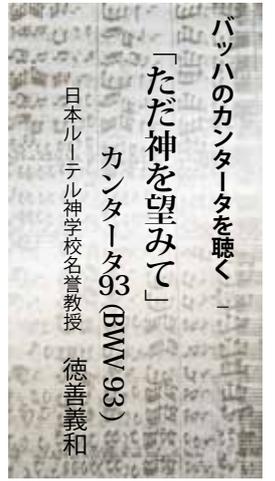


改訂共通聖書日課 (Revised Common Lectionary) について

式文委員会 平岡仁子

私達ルター派は礼拝に於いて聖書日課を用います。何故なら、説教者が自分自身でテキストを選ぶ時、その選択は多くの制限をもつことになるかと考えるからです。例えば、説教者個人々の教育的背景や説教者が会衆の好みに傾くと云つたような。私達は聖書から御言葉を聞きます。全てのキリスト者は毎週日曜日に聖書を通して神様が語られると信じています。そしてこの聖書朗読のリストが聖書日課と呼ばれます。聖書日課の使用は礼拝に於ける一致を表します。それ故、聖書日課は説教者のためにあるのではなく、会衆全てのためにあると云うことが出来ます。聖書日課は教会暦に従つて作られ、歴史的に西洋の教会は毎週日曜日2つの聖書朗読による1年周期の聖書日課をもつていました。そしてルターはその中世の聖書日課を受け入れました。しかし聖職者達にキリストによつて示された神の福音に明確な焦点を置いて説教するよう力説したのでした。ルター派は20世紀の中

るまで、中世の1年周期の聖書日課を伝統的に良い物として使用してきました。しかし20世紀半ば、世界のキリスト教は大きな変化を体験します。カトリック教会の典礼刷新により聖書日課は3年周期の3つの聖書朗読となり、この聖書日課が世界のプロテスタント教会に広く受け入れられていきました。3年周期の聖書日課は20世紀においてキリスト教が教派を超えて成し遂げた最も重要な成果であるときえ言われています。70年代、多くのプロテスタント教会（ルーテル、聖公会、長老派等）は各自独自にこのカトリックの聖書日課への適応・部分的改訂に着手しました。しかしエキュメニカルな動きと共に、共通の聖書日課をもつ要望が高まり、1983年、「共通聖書日課（Common Lectionary）」が出版されます。私達の青式文の聖書日課はこの「共通聖書日課（CL）」にさらに部分的に独自の改訂を加え作られた日課です。そしてその後「共通聖書日課（CL）」は再検討され、1992年「改訂共通聖書日課（Revised Common Lectionary）」として現在世界に普及しています。



「ただ神を望みて」

日本ルーテル神学校名誉教授 徳善義和
カンタータ93 (BWV 93)

手元にバッハの『カンタータ便覧』とでも言うべき、読んで面白くないが、大変便利な本がある。巻末にはバッハがカンタータで用いたコーラルのメロディーについての索引もある。カンタータやオラトリオ、受難曲まで含めると、教会讃美歌八一「血しおに染みし主のみかしら」が一番よく用いられている。マタイ受難曲に何度も用いられるほか、クリスマスオラトリオでも二回歌われる。しかしカンタータだけで見ると、教会讃美歌三三四「ただ神を望みて」が一番多い。バッハはこのメロディーによってオルガンのためにいくつものコーラル前奏曲も作曲して、名曲が多い。



「オルガンを奔放に弾く青年バッハ」銅像(アルンシュタット)

歌詞もメロディーもデカク・ノイマルク、バッハより五十年ほど前の人である。職人の家の生まれながら音楽と詩を学ぶ志を立てて大学町に向かう旅の途上で強盗に襲われすべてを奪われ、無一文になった。放浪の

下の福音書によって会衆は、不漁の一夜の後の、主のことばによる豊漁というペトロたちの体験を聞いた。それぞれ青年だったノイマルクとバッハの若い日の体験とも重なりあっているのだろうか。カンタータの七曲のうち、五曲でバッハがコーラルの原詩を用いているところにもそれが現れてはいないだろうか。こうしてこのカンタータはコーラル・カンタータの典型とでも言うべきものになっている。

福音と美術 II 2 永遠性の象徴

小鹿教会 寺澤節雄
静岡大学名誉教授(美術教育専)

私たちが永遠の運動に惹かれるのは、それが生の元型(根源的イメージ)と言えものだからです。元型は精神医学者ユングの概念ですが、連続無限・永遠の観念は、元型に根ざすものだと云えます。ユングは「元型によって語るものは、千の声を以て語る。…表現しようとする理念を一時的なものから永続的なものへと高める」と言っています*。

ところで、今日の芸術家は、無限に関心をもっているのでしょうか。図6は日本で活躍する韓国人芸術家、李禹煥(リーウワン)氏の作品です。一見メビウス・リンクのように見えますが、なぞってみると表裏は繋がっていません。この作品は表裏の乖離を解くものではないのです。図7は、オランダの画家エッシャーの作品です。メビウス・リンクの中を蟻達が這い回るさまは、シシユフォスの神話にも似て空虚などうどう巡りを思わせませう。このような絵画は、だまし絵とかトリック・

アートなどと呼ばれるかもしれませんが、文字通りそれは生の循環を出口のない反復と観ているようなかのようなものです。循環の運動をどう巡り巡ると観るか、永遠の運動と観るかに、その優美さは、まさしく無限循環の美しさであり、永遠性の象徴とも言えるものです。

このように、自然的生の拘束を解く新たな精神が無限の表現に通じるのであり、同様にキリストによって新しく生まれる精神が、死を以て終わる人間の生の虚無性を、滅びることの無い永遠の命につなげるものであると

理解出来るのです。*W.G. ロビンソン ユングと聖書 教館

図8 無窮環 登坂秀雄図

図7 エッシャー

図6 李禹煥 (模写)

翻訳プロジェクトについて

TNGの活動において4つの部門(幼児、子ども、ティーンズ、ユース)が世代ごとに働きかけていることはご存知でしょう。実はその他にも部門があり、地道に活動を続けています。今回は「翻訳

プロジェクト」という部門の働きについてご紹介したいと思います。翻訳プロジェクトは、その名の通り、翻訳することを中心にしています。が、ただ翻訳をするというだけでは、その働きが完成したことにはなりません。私たちは、海外のキリスト教教育関係の教材やプログラム等を翻訳し、日本でも使えるようにすることを目的としています。

キリスト教の歴史が長く、クリスチャンの多い国々では、キリスト教の教材開発が十分に商売となりますから、内容は充

かつてアメリカの出版会社が提供していた堅信教育の教材を扱っていたことがありましたが、その中のクイズ等はアメリカの子どもたちには面白いのですが、日本ではその面白味がわからないような内容があります。そこで私たちは翻訳をしつつ、新たなクイズ等を考えていかなければなりません。最近私たちがキャンブのマニュアル、リーダーの心得などの翻訳を手がけています。様々なプログラム作りのお役に立てばと思っておりますが、そこでもやはり言語上だけではない翻訳を必要としています。遅々として進まな

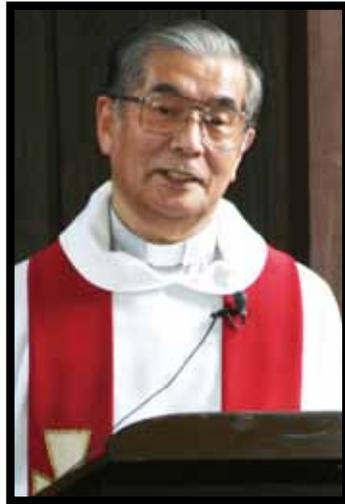


翻訳を進めている英文資料

「古財学校は閉校しました。」

市川教会牧師 中島康文

1955年に神学校を卒業された古財克成先生は、山口県の防府教会を



皮切りに、大森、市川、東京、札幌、帯広、池田、釧路の各教会を牧会され

た。古財先生に1954年生まれのお会いしたのは、1975年の夏、市川教会を牧しておられた時であった。九州を離れ自分の将来像が見えなかつた私だったが、数カ月もすると私は古財家の一員になっていた。

その古財家はお茶目であつた。ユニークな家族であつた。生みだしていたのは、もちろん大黒柱の古財先生。「本教会事務局長や東教区長、北海道特別教区長と歴任された先生に向かつて何ということをお叱りを受けるかもしれないが、お茶目であつた。

ユニークという評価が私の中で変わることはない。だから、お子様たちが「日曜日に遊ぶには友だちを教会に呼ぶしかなかつた」といつて連れてきた子どもたちが居つたようになつたし、礼拝が終わつてもあれこれと理由を付けて居残ろうとする青年たちが沢山いたのだ。よく遊び、よく食べ、よく学んだ...かは忘れたが、若者が(もちろん年配の方々も)集まつていたのは、先生の傍(そば)がとても居心地良かったからだ。

当時市川教会には、入

れ代わり立ち代わり神学生が派遣された、日曜実習であつたりインターンであつたり...。いつしかそれが神学生の間で「古財学校」、別称「古財再牛学校」と囁かれるようになっていた。在学が一番長く「再生」させてもらつた私が学んだことは、「神様が伝道してくださる、私たちはそのお手伝いをする」ということであつた。早朝のマンション伝道(ピラ配り)、ロウ原紙の樹目に一文字一文字書かれた印刷物、社会正義への真摯な取り組み等「神様が

伝道してくださる」ということを、黙々となされる先生の姿から学ばせていただいた。

古財学校は閉校しました、校長先生が天に召されたからです。卒業証書は、天上で再会した時に、地上での働きを校長先生に報告することでした。皆さま、だから今は、「古財先生、ありがとうくださいました。待っていてください」とだけ言っておきます。

この度左記の行為を致しますので、宗教法人第二三条の規定に基づき公告致します。

二〇一二年七月十五日
宗教法人
日本福音ルーテル教会
代表役員 立山忠浩
信徒利害関係人 各位

公告

- 保育室(二階)
 - 倉庫・更衣室(屋上)
 - 構造鉄筋コンクリート造
 - 面積
 - 一階 一三一・六六一
 - 二階 一三五・五四一
 - 屋上 四一・九四一
 - 理由 耐震診断調査の結果、耐震工事が必要不可欠となつたため
- ”羽村教会”
- ・大森教会堂築築・補強工事
 - ・種類 礼拝堂(一階)
 - ・所在地 羽村市羽東二丁目三二番地二
 - ・家屋番号三二一番一
 - ・種類 鉄筋コンクリート・木造陸屋根垂鉛
 - ・メッキ銅版葺一階建
 - ・一階 二九八・九八一
 - ・二階 二八〇・八〇一
 - ・理由 教会幼稚園の学校法人化に伴う基本財産の一部譲渡のため

ルーテル海外教会協力会議(LCM)開催

外からはELCA(アメリカ福音ルーテル教会)とSLEY(フィンランドルーテル宣教会)がそれぞれの取り組みを報告した。

キリスト教からみた場合、日本は多宗教という観点から考えやすいが、今後海外からの労働者を日本が受け入れていった場合、多文化、多民族も重要な宣教課題となりうる。そこですでにそうした取り組みを進めている国々から学ぶことにした。

最終日の30日にはJELC事務局との個別協議が行われ、アメリカ、フィンランド双方と現在の宣教師派遣と今後のあり方を具体的に話し合った。

5月28日から29日にかけて「ルーテル海外教会協力会議(LCM)」が東京教会を会場に開催された。2年ごとに開かれるセミナーが今年には行われ、テーマは「多文化・多宗教・多民族社会の宣教」。日本からは11名が各教区から出席、石居基夫神学校教授が基調講演、宮本新牧師がJELCの事例発表を担当した。海

外からはELCA(アメリカ福音ルーテル教会)とSLEY(フィンランドルーテル宣教会)がそれぞれの取り組みを報告した。

キリスト教からみた場合、日本は多宗教という観点から考えやすいが、今後海外からの労働者を日本が受け入れていった場合、多文化、多民族も重要な宣教課題となりうる。そこですでにそうした取り組みを進めている国々から学ぶことにした。

最終日の30日にはJELC事務局との個別協議が行われ、アメリカ、フィンランド双方と現在の宣教師派遣と今後のあり方を具体的に話し合った。



敬愛するストローム先生へ



2月2日、90歳になられたストローム先生への、時の総会議長渡邊純幸牧師の挨拶の抜粋です。

90歳のお誕生日おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。心よりドイツから遠く離れた日本に来られた当時、日

本福音ルーテル教会においては、まったく異なつた状況で大変だつたことを思い起こします。そして、来日して数年後、先生は大阪の釜ヶ崎で子どもの働きを自分で始められました。

そこに、先生は、当時「西成ベビーセンター」を開設し、後に幼稚園としての「子どもセンター」が認知されました。

先生は、釜ヶ崎で日雇い労働者にも関わり、そこで特に、断酒会にもご尽力戴きました。先生は、それらの働きのために「喜望の家」を開設されました。

私達は先生の釜ヶ崎でのお働きを何度も神に祈り神の祝福が豊かにこれからもそなえられますようにお祈りしています。

先生は、断酒会にもご尽力戴きました。先生は、それらの働きのために「喜望の家」を開設されました。

住所変更のお知らせ

■牛丸省吾郎先生住所

〒274-0073 千葉県船橋市田喜野井6-16-17
サンビレッジ船橋D-110
2 宮原様方
電話 047-464-6636